



令和5年12月21日（木）第33号

『校長室の窓から』

八尾市立龍華中学校発行

前回発行は11月30日でしたので、3週間ぶりのお届けとなります。主に12月上旬のことについて、書いています。

## あきらめない

**12月2日（土）3日（日）** 先日、テレビで関西大学ラグビーAリーグ最終戦と関東大学ラグビーAグループ対抗戦が放映されていました。関西リーグの京都産業大学と天理大学の試合は、勝った方が優勝というもので、試合終了間際までリードしていた天理大学でしたが、ロスタイム中の最後のプレイで京都産業大学がトライとコンバージョンゴール（CG）を決め、劇的な勝利を収め、優勝を勝ち取りました。均衡した試合で、どちらが勝つかわからない展開でした。どちらもベストを尽くした試合だったでしょう。

その翌日には、早稲田大学と明治大学の試合が放送されました。前半は明治大学が27対3で終えた展開でした。後半27分に早稲田大学がこの試合初めてのトライを決めた後、早稲田大は残り時間を惜しむかのようにすぐにCGを蹴り2点を追加し、41対10となりました。諦めていない気持ちがテレビ越しにも伝わってくるようでした。そして、試合は熱を帯びたものになり、最大38点差があった試合は、一時46対38まで早稲田大が明治大に迫るまでになりました。最終的には58対38で明治大が勝利しましたが、たいへんな試合だったと思います。劣勢に立たされた時にもあきらめてはいけない、あきらめないかぎり何かが起こる、と観戦を通して感じたところでした。

## 学年閉鎖 学級閉鎖

**12月4日（月）** 1年生のインフルエンザや発熱等の状況が思わしくなく、学校医に相談のうえ閉鎖としました。また、**12月11日（月）2時限から12月13日（水）**まで2年5組がインフルエンザ、発熱等体調不良者が多く、学校医に相談のうえ閉鎖としました。時節柄、すべての人たちが体調を整え、今年を良い形で締めくくってほしいと強く願っています。

## 元気が出る教室

皆さんの学習活動の様子が見えるよう教室前方廊下側に椅子をお借りして各学年の授業を観させていたでいていました。チャイムが鳴るとともにプリントや端末で問題を解き始める生徒たち。授業担当教員との会話のキャッチボールを楽しみながら、その教科の勉強へと頭の切り替えをしていると感じる授業もありました。習熟度別展開では、授業をより理解しようと教室の前方に座席を集中させる形になったという授業もありました。何より生徒と教員との関係性を基盤として、温かく活発な生徒の学習活動が成り立っていると感じる授業ということが強い印象でした。『どう解くんやろ』と頭を悩ましながらかも、懸命に考え、ひらめきに出会えることもありました。答えは、皆さんの頭の中にあたり、何度も書いては消して、を繰り返す、その指先にあたり、口走る喉元まで来ていたりすると思います。試行錯誤をして自ら到達した解法は強く記憶に残ることでしょう。答えを見つける途中の「間違い」は、正解への架け橋です。何より考えることを楽しむこと、ミスをあげつらわず『試行錯誤中やねんな』と受けとめ、考えること、脳をフル作動させることを大切に、学習活動に励んでほしいと願っています。元気な皆さんが一所懸命学習する教室に同席することはたいへんな幸せです。

## 小学校では

**12月6日（水）午後** この日、永畑小学校では6年生の音楽会が開催されました。当初の予定では12月1日に開催予定であったところ、学級閉鎖があり、この日の開催になったと聞きました。音楽会は三部構成となっており、初めに「クラス合奏」で、1組は「彼こそが海賊」を、2組は「情熱大陸」を、3組は「RPG」を演奏しました。楽器間のバランスが難しいだろうに、きっと日々たくさんの練習を積み重ねて、それぞれの楽器が溶け合うような演奏を各クラスが披露しました。第二部は、「学年リコーダー」として「ハナミズキ」を歌うように演奏していました。最後のパートは、「学年合唱」でした。曲は「歌よありがとう」と「フェニックス」でした。しみりとさせてくれるような情感あふれる合唱でした。閉幕時には「次に6年生が保護者の方とともに体育館に集まるのは卒業式です」などということばもありました。とてもよい音楽会でした。

なお、同日、龍華小学校の中・高学年児童は、久宝寺緑地に行き、マラソン大会を実施したとお聞きしています。暖かい日でよかったのではないのでしょうか。